

# 寄り添う全国の僧侶

東日本大震災から11日で丸2年を迎える本県の沿岸被災地に、犠牲者の鎮魂のため全国から宗派を超えて僧侶が訪れ、遺族と一緒に祈りをこめてしている。5日は浄土宗の大本山百万遍知恩寺(京都市左京区)の布教師会着

## 有志、被災地訪れ祈り

震災2年

志が、大船渡市三陸町越喜来の崎浜地区を訪問。津波が多く命をのみ込んだ海上から故人の霊を弔うとともに、大切な人を失い悲しみを抱える人々の「心の復興」を願い、静かに手を合わせた。



船上で経を唱え、震災犠牲者の冥福を祈る知恩寺布教師会の僧侶たち。5日、大船渡市・越喜来湾

## 遺族も乗船、花手向け

同会会長の榎本了示(りょうし)が、和歌山県白浜町から19人が訪問。同地区の遺族や友人ら約30人を乗せた漁船と2隻で、崎浜漁港を出港した。2隻が向かい合っとなり、僧侶たちが経を誦(よみ)する。強い風が吹く中、遺族らはじつと目を閉じ、まじった中の故人に思いをよせて海に花を手向けた。

自宅が被災し、同地区のアパートで暮らす重沢トシ子(としこ)さん(71)は、夫重志(しげしげ)さん(当時77)が行方不明のまま、「どんなに小さなものでもいい。お父さん(重志さん)のものが見つかってほしい」と涙を拭い、海を見つ

るよう力になりたい」と画(え)してきた。同日は大船渡市内の関東地方の僧侶有志でつくる「ひとこしの会」(渡部敦道(あつみ)会長)水戸事務所局長(34)は、「11日に大船渡、陸前高田の両市を訪問す」と、被災された方の慰霊を。宗派にかかわらず、震災直後から毎月両市に駆け付け、炊き出しやお茶飲み会などを企

## アパートに右足首

川崎・死体遺棄で捜査 住人親子が不明

5日前午前9時50分、見つかると、神奈川県警川崎市宮前区有馬が死体遺棄事件として1の22の1のアパート捜査を始めた。捜査によると、部屋

## 「流し」の可能性低く

二子市の周辺洗い出し急ぐ 男性刺殺

二子市福岡字長嶺の民家で、この家に住む相馬満秀(みづむね)さん(31)が刺殺された事件で、二子署捜査本部は、偶然相馬さん方に侵入した者の可能性は低いとみて

## 救急搬送36回断

奇玉具久喜市で1